



第11回 南漕会合唱団演奏会

1997. 11. 16 (日) PM 2:00

大手前ドーンセンターホール





平成9年(1997)5月25日 一いずみホール

ご挨拶

本日は、ようこそご来聴くださいまして、まことにありがとうございます。併せて、これまで多くの方々から賜りましたご支援、ご指導に、厚く御礼申し上げます。

私ども南漣会合唱団は、前回平成7年(1995)3月の第10回演奏会以降、合唱技術に一層の磨きをかけるため、総括指導・指揮者として関西二期会気鋭のバリトン金丸七郎氏を、ピアニストに栗田清隆氏を迎え、男声合唱の真髓を求めて精進を続けております。また、母校大阪市立大学グリークラブOBの枠から脱皮し、かつ、メンバーの拡充を図るため、数年前から広く合唱音楽愛好者の加入を呼びかけていますが、すでに5~6名の方の参加を得て、団の雰囲気も活性化し、好ましい方向に変貌しつつあります。

本日は、皆様にも馴染みの深い『日本のうた』『黒人霊歌』『水のいのち』を演奏しますが、金丸氏の指導による成果をどれくらい発揮することができるでしょうか。ご期待ください。

賛助出演として、毎回の「みおぎ会」と、新しく「新生女声コーラス」の皆さんが合同で、彩りを添えてくださいます。両団の友情に、深く感謝申し上げます。

ところで、近頃巷間、熟年の男声合唱団の活躍が話題となり、男声合唱の素晴らしさが見直されています。私たちの合唱団も、この傾向に取り残されてはならじと、本年7月、有志メンバー十数名が地中海に面したモナコ公国で行われた「日本文化フェスティバル」に参加し、グレース王妃劇場で「日本の歌」を披露して、現地聴衆から万雷の拍手をいただきました。さらに、平成11年(1999)4月には、大阪市当局の配慮により、大阪市と中国上海市との姉妹都市締結25周年記念行事に参加・協賛する形で中国への演奏旅行を計画し、日中文化交流の促進に貢献することができればと、その実現をめざしているところであります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、ひとえにお願い申し上げます。

南漣会合唱団

《表紙の言葉》

華やきて

秋は来たりぬ

紅葉の 天蓋のもと

われ たたずみて

見はるかす 逍遙の山々

澄みし風

いきつ もどりつ

想い出の 雲はたなびく

友とあう

日

心 待ちまして

いとおしや

めぐりくる秋

河原 碧子

大阪市長  
磯村 隆文



第11回南漣会合唱団演奏会が盛大に開催されましたことを、心からおよろび申し上げます。

大阪市立大学グリークラブOBを中心とする南漣会合唱団の皆様には、社会の第一線で活躍されている多忙な中であって、情熱をもって合唱活動を続けられ、親睦と交流を深めておられます。その日頃の練習の成果を披露される本演奏会が、回を重ねるごとに充実し、素晴らしいハーモニーでご来場の方々に魅了しておられますことは、誠にご同慶に存じます。

生活にゆとりやうるおいが求められる今日、音楽を通じて人々が心安らぐひとときをもつことは、誠に意義深く、皆様方のご熱意とご努力に深く敬意を表します。

21世紀の到来を間近に控えて、本格的な国際化時代を迎え、大阪市では、歴史と伝統を生かし、多彩な市民文化が花開く国際文化都市の実現に努めております。また、国際スポーツ都市としてさらなる飛躍をめざし、2008年のオリンピックを大阪に招致するため、多方面にわたる皆様のご支援のもと全力をあげて取り組んでまいり、去る8月、おかげをもちまして国内候補都市に選ばれました。今後、世界に向けてさらに積極的に招致活動を展開してまいりますので、皆様方の一層のお力添えをお願い申し上げます。

本日の演奏会が大きな成功を収められますよう、また、南漣会合唱団のますますのご発展と皆様のご活躍を、心からお祈り申し上げます。

関西合唱連盟  
最高顧問

加藤 直四郎



このたびの第11回演奏会の開催、まことにおめでとうございませう。

南漣会のことでいつも感じますのは、何といたってもこの合唱団のもつ温かみであり、また、演奏される曲に対して深い理解が行き届いているということです。前回の演奏会でも、ヴァラエティに富んだ曲目ごとに、その曲のもつ雰囲気をよく歌い分けておられたのに感心させられました。とくに正教聖歌を聴いて、ロシア聖歌を歌わせたら、他の合唱団の追従を許さないのではないかと思わせるような、とても味わい深い演奏であったことが大変印象的でした。地道な活動の積み重ねがこういった合唱の奥深さに繋がっていくことに、あらためて思い至らされます。

今年5月の「五つのOB男声合唱の集い」での黒人霊歌の演奏では、その精神性の表現、発声の美しさに進歩の跡がみられ、歌う方の心の躍動さえ感じました。金丸先生の指導により、以前にも増して一層潤いのある響きが出るようになったことは、大きな力であり、年々目立って向上してこられたことは、喜ばしい限りです。

今回の演奏会でも、日本のうた、黒人霊歌、組曲『水のいのち』といった変化に富んだ構成と、賛助出演される女声合唱団「みおぎ会・新生女声コーラス」の立派な演奏も加わって、厚みのある男声合唱と柔らかみのある女声合唱とが全体の演奏効果を一層高めることになると、楽しみにしております。

再来年には、中国への演奏旅行を計画されているとのこと、今後の活動が一段と幅広くなり、ますます充実、発展されることを、大いに期待しております。

ANCORの会  
本年度幹事団体

アルマ・マータ・クワイア  
増田 博



第11回南漣会合唱団演奏会、おめでとうございませう。ANCORの会の皆様とともに、心からお喜び申し上げます。

世界情勢が、社会状況が、音を立てて日々めまぐるしく変転し、30年前、40年前の私たちの学生時代とは人々の価値観が実に多様化した当今、多くの大学グリークラブの団員数激減に象徴されるように、その活動が低迷気味の男声合唱界にあって、南漣会合唱団は、やや地味ではありますが、着実に果敢に活動を続けておられますことに深い敬意を表します。毎回の曲目を拝見しましても、実に多彩で、男声合唱のスタンダードナンバーはもとより、意欲あふれる曲目、歌って聞いて楽しい曲目に取り組まれており、男声合唱団としての面目躍如たるを感じます。

実は、私たちアルマ・マータ・クワイアも、昨日、いずみホールで創立50周年記念・第37回定期演奏会を開いたばかりです。伝統ある南漣会合唱団共々、ANCORの会の各メンバーが手を携え切磋琢磨しあって、男声合唱界を少しでも盛り立てて行きたいものです。ますますのご発展をお祈りいたします。

# PROGRAMME

## Stage 1.

### 日本のうた

指揮：小 関 光 男

1. からたちの花 北原 白秋 作詩／山田 耕筰 作曲／林 雄一郎 編曲
2. この道 北原 白秋 作詩／山田 耕筰 作曲／福永陽一郎 編曲
3. 赤とんぼ 三木 露風 作詩／山田 耕筰 作曲／福永陽一郎 編曲
4. 七つの子 野口 雨情 作詩／本居 長世 作曲／福永陽一郎 編曲
5. 出船 勝田 香月 作詩／杉山長谷夫 作曲／岩代 浩一 編曲
6. ちんちん千鳥 北原 白秋 作詩／近衛 秀麿 作曲／林 雄一郎 編曲

## Stage 2.

「みおぎ会・新生女声コーラス」賛助出演

女声合唱組曲『あんずの里』

指揮：松 平 季 子

ピアノ：岡 本 佐 紀 子

1. あんずの里
2. 梅干のうた
3. 匂い立つさくら
4. 燃える

相馬 梅子 作詩／宮本 良樹 作曲

## INTERMISSION

## Stage 3.

### 黒人霊歌

指揮：藤 田 徹 夫

1. Keep in the Middle of the Road
2. Steal Away
3. De Animals a-Comin'
4. Wade in de Water
5. Soon-a will be done

## Stage 4.

男声合唱組曲『水のいのち』

指揮：金 丸 七 郎

ピアノ：粟 田 清 隆

1. 雨
2. 水たまり
3. 川
4. 海
5. 海よ

高野喜久雄 作詩／高田 三郎 作曲

# 曲 目 解 説

## 日本のうた

### 1. からたちの花

白秋の生家には、からたちの花がありました。そして、耕筰が幼い頃に働いていた工場の一隅にも、からたちの花があったそうです。二人に共通した追憶の情がみごとに重なり、そこから生まれた日本歌曲の記念碑的作品とされています。

### 2. この道

福岡県生まれの白秋は、北海道の広大さに憧れる一面を持った人でした。ここにはアカシアや時計台が歌われていますが、詩が書かれた前年に北海道を旅していることから、その記憶が大きく影響しているものと思われます。

### 3. 赤とんぼ

4番のみが現実の光景で、その赤とんぼを通して幼い頃の回想を語っています。とくに「十五で嫁いだ姐や」への郷愁は、胸に迫るものがあります。

後半、ベースにメロディを歌わせるという全体の感じから、原詩の順序が変えられています。

### 4. 七つの子

大正10年(1921)7月に発表されたこの曲は、子を思う親心に訴える感情が強く詠われていることでは、無類のものと言えるでしょう。

昭和29年(1955)、木下恵介監督の映画『二十四の瞳』のテーマ曲に用いられ、映像に溶け込んだメロディに涙し、感動された年配の方も多と思います。

### 5. 出船

大正11年(1922)の作。藤原義江が2年後にアメリカでレコードに吹き込み、それを昭和2年(1927)、日本ビクターが逆輸入の形で国内販売しました。流行歌謡曲というより、抒情歌曲として扱われた作品です。

### 6. ちんちん千鳥

冬の夜、川波にくぐり浮く千鳥の寒そうな鳴き声が耳から離れず、寝つかれないままに夜が白む。——寂しい情景ではありますが、ヒューマニズムの芽生えともいべき心情を歌いあげています。

## 黒人霊歌

黒人霊歌は、人間の魂の叫びであり、深い信仰に裏打ちされた霊歌として今日に歌い継がれています。

### 1. Keep in the Middle of the Road (道の真ん中を進もう)

天国に至る金色の階段をしっかりと見つめて、わき目もふらず道の真ん中を進めば、やがて天国に行ける。死を迎えて歩けなくなるその時は、翼を身につけて飛び上がれ。

### 2. Steal Away (主のもとに逃れたい)

そっと神様の所へ、天国へ行きたい。雷鳴と稲妻で神様が私を呼んでいる。ここにはもう居たくない。

### 3. De Animals a-Comin' (動物たちがやってくる)

ノアの箱舟に、動物たちが次々とやってくる。雌牛に象にカンガルー、熊に甲虫に丸花蜂が、カバや雌鹿が、ハイエナや猿が、そして豚も……。ノアが命じてゲートを閉じ、ともづなを切り、汽笛を鳴らして、箱舟はアララト山の頂におつかるまで、何処ともわからず漂流した。ハレルヤ!

### 4. Wade in de Water (浅瀬を渡れ)

ユダヤの人々が、追ってくるエジプト王の軍隊から逃れ、神の力で、水の引いた紅海を歩いて渡る情景が歌われている。

### 5. Soon-a will be done (苦しみはもうすぐ終わる)

この世の苦しみから逃れて、神のもとに居る母や兄弟に会いたい、と歌う。

## 水のいのち

昭和39年(1964)、高野喜久雄の5篇の詩に混声合唱曲として作曲され、昭和47年(1972)、男声合唱のために編曲されました。

雨が水たまりや川になり、やがて海へ、という水の一生を描いたものではなく、標題のとおり、それぞれの水の《いのち》、水の《魂》を意図した作品です。

“雨”……雨は、井戸や芝生に、梢や木の根に、この地上に存在するすべてのものの上に、わけへだてなく降りしきり、それらを立ち返らせる。

“水たまり”……水の命は、たとえ泥水であっても空の青さを写そうとし、澄もうとして苦しんでいる。

“川”……低い方へ行くしかない川。何故遡れないのか。川が憧れているのは、山や空の高さなのだ。

“海”……海は、凪ぐこともあり、たけり狂うこともある。川はすべて海に流れ、その水は、最後に岸辺に打ち上げて、終わりを迎えるようだ。

“海よ”……海は、あらゆる芥、汚れ、疲れはてた水を受け容れ、それを新しく甦らせて、渚に波打つ。その不可思議さ。そして、水の魂は、やはり空に昇り雲になりたいと、いつも願っている。

この作品は、「水の“命”に託した優しさや激しさ、苦しみや希望は、私たちが生きて行く心そのものだ」という意味が表現されている詩であり、曲であると言えるでしょう。全体を通して、言葉に添って厳しい旋律と変化に富んだリズムで作曲されている大変な難曲ですが、男声合唱の深い響きで、精神性ゆたかに歌いあげることができれば、と願っています。

# PROFILE

## ■総括指導・指揮者

金丸七郎



大阪教育大学特設音楽課程卒業。東保、M. シャック、木川田誠、H. ブラシケ、B. ファスベンダー、H. ドイチュ、O. ミリャゴヴィッチの各氏に師事。1975年ザルツブルグ、1990年リュベック、1995年ウイーンにおいて研鑽を積む。浪速芸術祭新人奨励賞受賞。『カチカチ山』でデビュー。関西二期会を代表するバリトンとして、明るい声質とそのキャラクターは、常に高い評価を得ている。『A. ヘリング』のシッド、『コシファントウツテ』のグリエルモ、『メリー・ウィドウ』のダニロ、『魔笛』のパパゲーノから『仮面舞踏会』のレナート、『蝶々夫人』のシャープレスなど幅広いレパートリーをこなし、とくに東京日生劇場から、『セビリアの理髪師』のフィガロ、『魔笛』のモノスタスに招聘され、好評を博す。関西フィル、京響、大阪シンフォニカ、大阪センチュリー交響楽団の演奏会やガラコンサートのほか、フォーレの『レクイエム』、ヘンデルの『メサイヤ』、シューベルトの『ト調ミサ』、モーツァルトの『戴冠ミサ』等のオラトリオに出演。シューベルトの三大歌曲『美しき水車小屋の娘・冬の旅・白鳥の歌』、シューマン、ヴォルフ、ブラームス、メンデルスゾーン等ドイツ歌曲のリサイタルをライフワークとし、意欲的に活動が続いている。最近では、1997年10月26日アルカイックホールでの関西二期会公演『セビリアの理髪師』でフィガロ役を好演。同年11月5日いづみホールで「冬の旅バリトンリサイタル」を行う。現在、NHKコールマドリガル、KLINGEN、コスモス混声合唱団、南漣会合唱団の各指揮者。関西二期会、日本シューベルト協会各会員。

## ■ピアニスト

栗田清隆



大阪芸術大学芸術学部音楽教育学科卒業、同専攻科修了。ピアノを伊藤ルミ、龍野順義、アゴナーシュ・ジョルジュの諸氏に師事。ザルツブルグ・サマーアカデミーにおいて伴奏法をポール・シルハウスキー氏に師事。ピアノ名曲の夕べ、フレッシュアールチストコンサート等に出演。朝日カルチャーセンター、NHK文化センターにおいて講座ピアニストを務めるほか、歌曲・オペラ・合唱等の伴奏者として幅広く活躍している。日本演奏連盟会員。

## ■南漣会合唱団メンバー <平成9年(1997)11月>

第一テナー	第二テナー	バリトン	ベース
金井 綱一郎	石田 等	石井 欽	石川 健
鹿野 勝	大田 徳	上田 三	上木 喜
齋藤 三朗	杉本 徳	川口 浩	扇 田
新 栄一郎	高 俊	谷岡 昇	桂 貞
中 島 圭	田 博	田村 純	小 関
中 西 正	服 部	中 川	作 田
細 川 光	藤 田	西 田	下 伊
	松 村	山 内	寺 前
		横 田	中 島
		米 田	宮 村
			山 上
			山 縣
			和 本
			和 田
			一 栄
			昭 夫

# 南漣会・南漣会合唱団

南漣会の設立は、昭和15年(1940)にさかのぼります。この年は紀元2600年を祝ういろいろな行事があり、大阪商科大学グリークラブでもこれを記念して、南漣会最初の演奏会が大阪ガスビルホールで開催されました。当初は、現役部員とOBとが定期的に演奏会を持つことを目標にして活動するという趣旨であったと伝えられています。

「南漣会」という名称は、大学が大阪市の南に位置し、大阪市の市章である「漣」=「漣標(みおつくし)」からとられたものです。

大阪商科大学グリークラブのOBと現役とが合体して発足した南漣会ですが、戦中・戦後の混乱期であったためか、活動の機会が少なくなり、戦後は主として、OBが物心両面で現役グリーを援助するという形態に変わり、商大・市大グリーのOB組織として定着し、現在に至ります。

合唱団としての活動が始められたのは、新制第1期生が卒業した昭和28年(1953)で、以降、現役グリーの定期演奏会にOBの有志が合同や単独でステージに立ち、昭和39年(1964)に第2回の演奏会が開かれ、また、定例サロンの集まりなどを通じて男声合唱の灯が保ち続けられてきました。

このような経過のあと、昭和55年(1980)に母校が建学100周年を迎えるのを契機に、その前年、南漣会組織の結束を図り、それを母体とする「南漣会合唱団」が再編されました。昭和55年(1980)3月8日、十数年ぶりに演奏会を復活させ、それ以来、継続的に活動をし、定期演奏会を隔年ごとに開催しています。そのほか定例の行事としては、昭和56年(1981)から毎年開かれている『五つのOB男声合唱の集い』(京都大・大阪市立大・東京大・大阪大・神戸大の各大学OBを中心とする「ANCORの会」)をはじめ、その他友好団体のステージへの賛助出演等に参加しています。

大学OB合唱団の悩みは、いづこも同じのようです。仕事や家庭の事情でメンバーの定着が不確実で、満足できる状態には程遠いもどかしさがあります。そうした危機を克服しなければと、5~6年前から、男声合唱を愛好する一般の方々にも広く参加を呼びかけ、また、それに呼応して昔とった杵柄の旧友に誘いかけるなど、現在の約40名から、50~60名の合唱団をめざして、メンバー拡充の努力に余念がありません。

さらに2年前から、関西二期会のバリトン金丸七郎氏を指揮者に迎え、発声法から詩の発音、曲の解釈・歌唱表現に至るまで合唱技術全般にわたり、懇切かつ厳しい指導を受け、また、ピアニストには栗田清隆氏をお願いしております。金丸氏・栗田氏の指導とOB以外のメンバーの加入により、内輪だけの甘えから脱却し、練習にも従前以上に真剣さが加わって、心地よい緊張感と充実感が漲っています。

また最近、海外演奏の計画にも積極的に取り組み、本年7月に、十数名のメンバーが、モナコ公国で行われた「日本文化フェスティバル」に参加してステージを持ち、好評を博しました。さらに平成11年(1997)4月には、大阪・上海姉妹都市締結25周年記念行事に参画する機会を得て、中国への演奏旅行を予定しています。

## 南漣会合唱団 幹事スタッフ

代表	上田 稔
副代表	細川 光雄
幹事長	宮田 潤
指揮者	藤田 徹夫
〃	小関 光男
幹事	
総務	扇田 豊
ANCORの会	中島 泰典
海外行事	石川 健夫
会計	上木 喜昌
〃	新 栄一郎
会計監査	齋藤 三郎
楽譜管理	〃 (兼務)

## パートリーダー

T <sub>1</sub>	中島 圭意
(サブ)	細川 光雄
T <sub>2</sub>	服部 栄治
(サブ)	大田 徳隆
B <sub>1</sub>	谷岡 昇
(サブ)	田村 純朗
B <sub>2</sub>	和田 昭夫
(サブ)	村上 勇

## 総括指導・指揮者

金丸七郎  
ピアニスト 栗田清隆

連絡先: 宮田 潤  
0745-45-2758  
扇田 豊  
0742-41-4368

## ■次回出演ステージ

第18回  
《五つのOB男声合唱の集い》  
平成10年(1998)5月24日(日)  
いづみホール

司会 白石公子さんには、毎回お世話になっていますが、今回も快くお引き受けいただきました。ご協力に厚く御礼申し上げます。  
大阪市立大学生生活科学部社会福祉学科卒業。ラジオ関西アナウンサーを経て、現在、フリー。

表紙絵 河原碧子先生から、今回も錦秋にふさわしい華麗な日本画をご提供いただきました。ご好意、まことにありがとうございます。  
大阪市立大学家政学部住居学科卒業。日本画家。河原デザインスクール理事長。大阪市立大学後援会常務理事。

## みおぎ会／新生女声コーラス

### みおぎ会

昭和42年(1967)まで大阪市立大学で活躍していた女声合唱団を母体としたOGグループが私たちの「みおぎ会」です。現役クラブは今では存在しませんが、もう30年以上も前に共に歌ったクラブでの信頼関係は何十年経っても心地よく、忙しさの中から何とか時間をさいて、私たちは今もなお歌い続けています。昭和56年(1981)から、喜歌劇楽友協会のプリマドンナ松平季子先生を指揮者に迎え、とくにハーモニーしやすい声づくりに励んできました。そして、岡本佐紀子さんの、美しく表情ゆたかな音色のピアノ伴奏で練習を楽しく実りある気分させていただいています。

「みおぎ会」の名称は、南漣会と同じく、大阪市の「みおつくし」に因んで「漣木(みおぎ)」と名づけたものですが、大阪市大女声合唱団OGのメンバーに限らず、一緒に歌ってくださる方々も心からお迎えし、より美しいハーモニーを響かせたいと願っています。同好の皆様!どうぞご入会ください。お待ちしております。

#### ◎これまでの主な行事

- 昭和62年(1987)11月23日 第1回リサイタル(大阪倶楽部)
- 平成元年(1989)8月 シンガポールへ演奏旅行
- 平成4年(1998)6月13日 第2回リサイタル(大阪倶楽部)

#### ◎今後の予定

- 平成10年(1976)6月27日 第3回リサイタル(守口文化センター・エナジーホール)

### 新生女声コーラス

私たちの団体は、昭和51年(1976)5月、大阪市東住吉区の新キンダーガーデン母の会を母体としてスタートし、今日まで20年余りにわたって松平季子先生の指導を受け、今では広く一般の方々にも加わっていただいて、楽しく活動を続けています。

平成4年(1992)9月に「ザ・ファースト・コンサート」、平成8年(1996)5月、阪神大震災のあと私たちの地域に移り住み歌仲間となった友を西宮に送り出す「ミニミニコンサート」を開きました。また、毎年クリスマスには、新生キンダーガーデンが属する新生教会で讃美歌などを歌い、南大阪お母さんコーラス連盟主催の「合唱のつどい」、「全国おかあさんコーラス関西支部大会」等に出場。そのほか、邦楽家・青地歌音登さん率いる「ぐるーぶ・のぼる」の演奏会(国立文楽劇場)にゲスト出演。今年4月に、はじめて「みおぎ会」との交流会を持ちました。

本日、みおぎ会と合同で、歴史と伝統に輝く南漣会合唱団の演奏会に賛助出演させていただけることを、大変光栄に思っています。

技術面ではまだまだ未熟で、いつも先生を困らせているのですが、歌うことのできる喜びを胸にし、一層の向上、躍進をめざして頑張っていきたいと願っております。

### 指揮者

松平 季子

大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業。同専攻科修了。斉木幸子、木村絹子の両氏に師事。ミュンヘンに留学、ローレフィシャー氏に、ローマでC. D. ジャコモ氏に師事。

J. シュトラウス『こうもり』のロザリンデ役でオペレッタにデビュー。『メリー・ウイドウ』のハンナ、『ジプシー男爵』のザッフィー、『マリツァ伯爵夫人』のマリツァなど、多くのオペレッタのヒロインを演じ、とくに毎年の『こうもり』大阪公演では、その優れた歌唱・演技力は高い評価を受け、オペレッタ歌手として活躍を続けている。

国内はもとより、パリ、モンテリオール、ニューヨーク等海外で公演の音楽劇にソリストとして招かれ、ドイツ、ベルギー等でコンサートを行い、好評を博す。

日本演奏連盟会員、喜歌劇楽友協会理事。

### ピアニスト

岡本 佐紀子

大阪音楽大学音楽学部ピアノ科卒業。永井淳子氏に師事。1981～84年、大阪音楽大学で教育助手を勤める。

関西フィルハーモニーとピアノコンチェルトを協演のほか、ソロ・コンサート、ジョイント・コンサートを開催、好評を博す。1995年、ブラジル・パラナ州ロンドリーナ市でロンドリーナ国際音楽フェスティバルに参加。同州マリナ市で日伯修好100周年記念コンサートに出演。

現在、関西では数少ないコレペトワールとして、大阪音楽大学ザ・カレッジオペラハウス専属のほか、関西歌劇団等でも活躍し、内外の著名な指揮者、歌手から信頼を得ている。

## 男声合唱の重厚なハーモニーと響きを

味わってみられませんか!

◇◇◇◇◇ 南漣会合唱団では 同好のメンバーを募集しています。◇◇◇◇◇

お気軽にご参加ください。 テナール声域の方 大歓迎!

- **演奏曲目** 日本の歌/黒人霊歌/アメリカ民謡/ミュージカル/ミサ曲  
ロシア正教会聖歌/ロシア民謡/ドイツ歌曲/ポピュラーなど
- **練習** 通常、毎週 土曜日(月4回) 午後6:00~9:00  
大阪フィルハーモニー会館(通称「大フィル会館」)  
(地下鉄四ツ橋線「岸の里」東(南海電鉄高架ガード)へ 徒歩3分)  
南海電鉄「天下茶屋」南へ 徒歩3分
- **今後の行事** 第18回“五つのOB男声合唱の集い” 1998. 5. 24(日) いずみホール  
“中国 上海市への海外演奏旅行” 1999. 4.

◎お問い合わせ: お知り合いの団員 または なんれい かい  
扇田 TEL&FAX 0742-41-4368 まで **南漣会合唱団**

**ブライトリー・ナイト  
イン**

白いピアノと花いっぱいの  
ロマンチック・ラウンジ  
トレンドイコエ・サウンドで  
今宵も主役は“あなた”です。

ミュージック・ラウンジ **ロココ**  
大阪市中央区西心斎橋2-1-18 ニタヤビル2F

☎ (06) 213-9011・7602

御堂筋 周防町 日生ビル 八幡筋 御津八幡

パッケージって、おもしろい。

食品、飲料、化粧品、医薬品……

どんな商品にだって企業からの

メッセージが詰まっている。

鮮度を保つ特殊フィルムや

安全性を高めた容器、

環境問題に配慮した

簡易包装や再生パック……

ほら、見えてきた、見えてきた。

パッケージは、いわば

企業の人柄ってところかな。

消費者ニーズにマッチしてる、

時代の動きにだって敏感。

フジシールは、時代を、

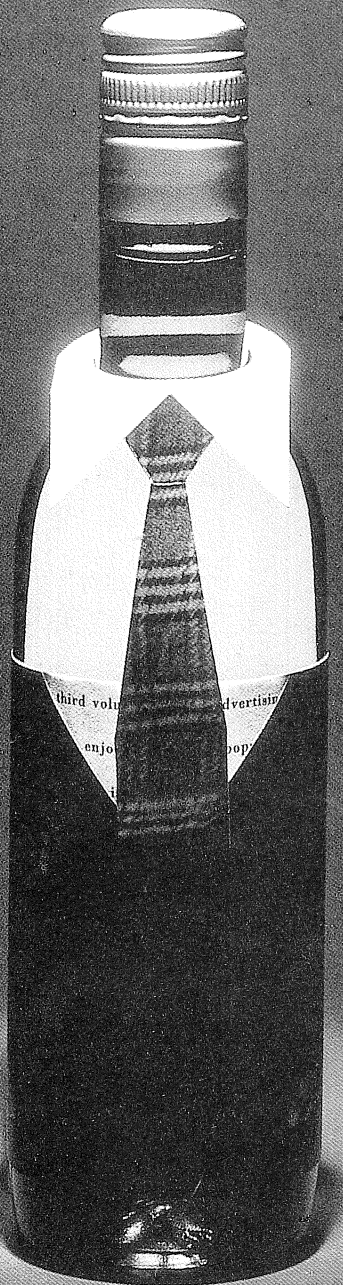
社会を見つめながら、

シュリンク包装をはじめとする

優れた技術やノウハウの

開発を通して、パッケージングの

可能性を追求しています。



# パッケージ社会学

## Fuji Seal, INC.

〔事業内容〕

●シュリンクキャップシール製造・販売 ●シュリンクラベル製造・販売 ●各種収縮包装資材加工・販売 ●タックラベル製造・販売 ●アルミ容器・プラスチック容器販売 ●自動ラベラー設計・製作 ●関連機械の設計・制作 ●委託包装加工

株式会社フジシール 代表取締役副会長 藤尾隆

(東京本社)〒103 東京都中央区日本橋本町3丁目11番11号 TEL.(03)3662-3535(代) (大阪本社)〒541 大阪市中央区久太郎町3丁目5番26号 TEL.(06)252-2240(代)〔事業所〕支店/東京、大阪 営業所/名古屋、広島、福岡 工場/東京、埼玉、茨城、名張、大阪〔フジシールグループ〕㈱フジシール/㈱フジタック/㈱バックフジ/㈱フジ・アステック American Fuji Seal INC./Fuji Seal Europe Ltd./Fuji Seal Germany/Fuji Seal Australia

SINCE 1962

## 21世紀は年月を経た深さを求める時代 *How important is the youth?*

夢を追って輝いて生きる!



### Graphic Design

創造力を育てながら手描き制作からマッキントッシュまで幅広く学びます。

### Interior Design

センスある空間の演出や設計図の実際、色彩訓練から模型制作までを学びます。

### Color Coordinate

色彩の基本から応用、色の心理から配色までを学びます。

### Chasing Design

自分でデザインしたアクセサリから銀の小箱まで楽しく制作します。

カラーリスト養成科1年 イラスト特別講座6ヶ月 マックコース3ヶ月

【本科2年制・専科1年制/昼間部・夜間部】願書受付中



プロを育てる名門校

# 河原デザインスクール

案内書  
無料

〒530大阪市北区中之島3-2-4 朝日新聞ビル TEL(06)203-4754(代表)/FAX(06)226-0730

KAWAHARA DESIGN SCHOOL